

日本保健物理学会 新 Newsletter 2017年10月22日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2017/10/24 15:06:15

日本保健物理学会 新 Newsletter 2017年10月24日号

1. 学会関連情報

- Joint ICRP-RERF-JHPS Workshop on Recent Progress in Radiation Dosimetry for Epidemiology and Radiological Protection

(12月2日(土) 13:30-17:00、東京大学 工学部 2号館 221 講義室)

ICRP web pageに案内が掲載されました。

<http://www.icrp.org/docs/Joint%20ICRP-RERF-JHPS%20Workshop%20Dec%202017%20First%20Announcement.pdf>

- 「自然放射性核種を含む廃棄物の放射線防護に関する専門研究会」第2回会合(10月27日(金)13:30-17:00、原子力安全研究協会)

「自然放射性物質の取扱い・処分に関する問題?社会学的見地からの視点?(仮)」(関西大学 社会安全学部 土田教授)ほか

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=80>

2. 関連する研究動向

- ICRP 第4回国際シンポジウム(2017年10月10-12日、仏国パリ)における全講演の発表資料をPDFとして公開(動画も後日公開予定)

<http://www.icrp.org/page.asp?id=359>

(論文情報)

- Epidemiology. doi: 10.1097/EDE.0000000000000761. (2017年10月4日に電子版先行掲載)

INWORKS(英米仏原子力作業員)における固形がん部位別死亡率と放射線被ばくとの相関を解析(ポアソン回帰最尤推定と階層ベイズモデル)。

追跡820万人年。放射線との相関(最尤推定過剰相対比)は、口、食道、胃、大腸、直腸、膵臓、腹腔・中皮腫、喉頭、肺、胸膜、骨・結合組織、皮膚、卵巣、精巣、甲状腺のがんが正(直腸、腹腔、喉頭、肺、皮膚、精巣のがんは最尤推定過剰相対比が有意に増加)、肝臓・胆嚢、前立腺、腎臓、心臓のがんが負。

Site-specific solid cancer mortality following exposure to ionizing radiation: a cohort study of workers (INWORKS).

Richardson DB et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/28991003>

- Radiat. Res. doi: 10.1667/RR14719.1. (2017年10月6日に電子版先行掲載)

ロシアのマヤック作業員コホートと英国のセラフィールド作業員コホートのPu肺がんリスクプール解析。死亡率、罹患率のいずれも肺の累積内部被ばく線量に対して直線的に増加。PuのERR(excess relative risk)推定はガンマ線累積外部被ばく0.2-0.4/Gyの範囲内。マヤックとセラフィールド間のガンマ線外部被ばくとPuの被ばくのリスク推定は同等。60歳男性におけるPu肺がんのERR/Gyは、死亡率、罹患率のいずれも5-8/Gyの範囲内。

Puとガンマ線のERR/Gyに基づくRBE(生物学的効果比)は10-25で、現行の α 線放射線荷重係数,20とほぼ同じであるが不確実性が大きい。

Lung Cancer Risk from Plutonium: A Pooled Analysis of the Mayak and Sellafield Worker Cohorts.

Gillies M et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/28985139>

○Radiat Protect Dosimetry (2017年10月13日に先行掲載)

IRSNがフランス国内の核医学検査(2004?2015年)におけるRI投与量データの9割を解析。同国の核医学検査における診断参考レベル(DRL)のアップデートを提言。

Patient exposure from nuclear medicine in France: National follow-up and influence of the technology through diagnostic reference levels data analysis.

Roch P et al

<https://doi.org/10.1093/rpd/ncx213>

3. ニュースや社会の動き

○消費者庁 風評被害に関する消費者意識の実態調査(第10回)

放射性物質を理由に福島県産品の購入をためらう人の割合はこれまでの調査で最少。食品の産地を気にする理由のうち「放射性物質の含まれていない食品を買いたいから」は減少傾向にあり、基準値以内の放射性物質のリスクを受け入れられると回答した人は増加傾向。

http://www.caa.go.jp/earthquake/understanding_food_and_radiation/pdf/understanding_food_and_radiation_171011_0001.pdf

○原子力規制委員会 国立大学法人東京工業大学の放射性同位元素等取扱事業所における放射性同位元素の管理区域外への漏えいについて報告を受理

(2017年10月13日) 排水枘と配管の接合部(管理区域外)隙間からトリチウム漏えい

<https://www.nsr.go.jp/activity/bousai/trouble/houkoku/00000095.html>

○ICRP 福島ダイアログイニシアティブ国際ワークショップの抄録集を公開

<http://www.icrp.org/page.asp?id=363>

○ICRP 主委員会 2017年10月会合の要約を公開

<http://www.icrp.org/docs/ICRP2017/Summary%20of%20October%202017%20Main%20Commission%20Meeting%20Paris.pdf>

○ICRP 第4委員会 2017年10月会合の要約を公開

<http://www.icrp.org/docs/ICRP2017/Summary%20of%20October%202017%20C4%20Meeting%20Paris.pdf>

○OECD/NEA 戦略計画 2017-2022 を公開

<http://www.oecd-nea.org/general/about/strategic-plan2017-2022.pdf>

4. これからのイベント

○東京大学 国際廃炉研究開発機構 (IRID) 福島第一原子力発電所の廃炉に向けた研究及び人材育成に関する東京大学・IRID ワークショップ

(11月1日、東京大学本郷キャンパス 工学部)

<https://www.rsj.or.jp/info/robotnews/10127/>

○放射線教育フォーラム 公開パネル討論会「エネルギー・放射線教育 in 愛知」—理科と社会科の授業づくりを考える—

(11月23日、名古屋大学東山キャンパス 工学部)

<http://www.ref.or.jp/>

○静岡大学 原子力規制人材育成事業 (2017年度後期) 「放射線安全のための大学間連携放射線計測専門家・教育者育成プログラム」

12月23日~24日 (静岡大学) 2018年2月26日~27日 (九州大学) 2018年3月8日~9日 (富山大学)

https://jn-hrd-n.jaea.go.jp/material/news/20171018-shizuoka_univ_info.pdf

○大阪府立大学 原子力規制人材育成事業 (2017年度後期) コバルト照射プールを用いた水中放射線測定と画像測定
11月13日~14日、12月26日~12月27日、2018年1月18日~19日、2018年1月25日~26日

<http://www.riast.osakafu-u.ac.jp/Training/training.htm>

○日本原子力研究開発機構 第12回原子力機構報告会「原子力の未来 ~原子力機構の挑戦~」(11月14日、有楽町朝日ホール)

<https://www.jaea.go.jp/jaea-houkoku12/>

○京都大学原子炉実験所 第52回学術講演会 (2018年1月25日~26日、京都大学原子炉実験所)

<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/events/9531>

○RAD 2018 (2018年6月18日?20日、マケドニア オフリド) ←要旨投稿期限 2017年11月30日

<http://rad2018.rad-conference.org/welcome.php>

○米国放射線防護審議会 (NCRP) 第54回年会“Radiation Protection Responsibility in Medicine”

(2018年3月5日~6日、米国ベセスダ) 参加登録受付開始

<http://registration.ncrponline.org/>

プログラムの暫定概要は、下記の Health Physics News より閲覧可能

http://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/PDFs/BOICE-HPnews/62_Radiation_in_Med_Oct2017.pdf

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○金沢大学医薬保健研究域保健学系（医療科学領域 量子医療技術学講座）助教1名・任期5年・再任可（締切：12月18日）

http://mhs3.mp.kanazawa-u.ac.jp/data/recruit/20171018_koubo_QMT.pdf

○純真学園大学保健医療学部放射線技術科学科 助教（理工学および放射線科学の基礎分野）1名・任期あり・原則更新（締切：11月16日）

<http://www.junshin-u.ac.jp/recruit/pdf/radiation/r20171116-1.pdf>

○新潟大学医学部保健学科 助教（放射線技術科学）1名 任期5年・再任可（締切：11月24日）

<http://www.clg.niigata-u.ac.jp/教員公募/>

○広島大学学術院（原爆放射線医科学研究所）放射線ゲノム疾患研究分野 助教（テニュアトラック）1名（締切：11月24日）

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/rbm/news/42008>

○広島大学学術院（原爆放射線医科学研究所）ゲノム障害病理研究分野 助教（テニュアトラック）1名（締切：11月24日）

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/rbm/news/42010>

○北海道大学大学院工学研究院 量子理工学部門 応用量子ビーム工学分野（粒子線治療工学分野）准教授（任期なし）1名（締切：12月27日）

http://yggdrasil.eng.hokudai.ac.jp/download_file/files/qjin/pa29-21.pdf

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/newsletter/index.html>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同企画委員会

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp
